

史跡 入江・高砂貝塚（高砂貝塚）

（読み方）しせき いりえ・たかさごかいづか（たかさごかいづか）

（英 語）Takasago Burial Site

【所在地】

北海道洞爺湖町高砂町

【年代】

紀元前 1,000 年頃（約 3,000 年前）

【キャッチコピー】

内浦湾に面した共同墓地

【説明文： 84 字】

内浦湾をのぞむ低地に立地する貝塚を伴う共同墓地。墓域からは、抜歯の痕跡のある人骨や胎児骨を伴う妊産婦の人骨のほか、土偶や土製品などが出土し、当時の葬送や精神文化を示す。

【説明文： 136 字】

内浦湾をのぞむ低地に立地する共同墓地。土坑墓と配石遺構からなる墓域、貝塚が配置されている。土坑墓には、土器や石器、石製品などの副葬品をとめない、ベンガラが散布されている。このほか、抜歯の痕跡が認められる例や胎児骨を伴う妊産婦の人骨なども確認され、当時の葬送の様子を伝える。

【説明文： 223 字】

内浦湾をのぞむ低地に立地する貝塚を伴う共同墓地。墓域は、土坑墓と配石遺構で構成されている。土坑墓からは、抜歯の痕跡が認められる人骨や胎児骨を伴う妊産婦の墓が確認されている。配石遺構からは、土偶や土製品などが出土し、当時の葬送や祖先崇拜などを示す。貝塚からはタマキビ、ホタテ、アサリなどの貝類、ニシン、カレイ、マグロなどの魚類のほか、鹿角製の銚頭など漁労具も多数出土している。沿岸地域における漁労を中心とする生業と高い精神性を示す重要な遺跡である。